

第 7 2 5 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 万代島ルート線 国道 7 号栗ノ木道路・紫竹山道路整備事業〔北陸地整〕

…………… 新潟県新潟市

- ・万代島ルート線は、新潟バイパス紫竹山 IC から中央区寄居町に至る全長約 5.6km の都市計画道路であり、平成 4 年に都市計画決定され、高速道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と新潟市中心部を南北方向に結び市街地部での慢性的な交通渋滞の緩和、交通事故の削減、中心市街地へのアクセス向上及びまちづくり支援などが目的である。
- ・柳都大橋を含む延長約 1.5km 区間が先行して開通し、現在は、国道 7 号栗ノ木バイパスで「栗ノ木道路（延長約 1.4 km）」と「紫竹山道路（延長約 0.7 km）」の橋梁上部工・下部工及び改良工事を進めている。
- ・また、令和 4 年度には柳都大橋と栗ノ木バイパス区間を立体道路で結ぶ「沼垂道路」が事業化された。



2 福島潟河川改修事業〔新潟県〕

…………… 新潟県新潟市

- ・新井郷川及び福島潟の流域では、平成 10 年 8 月の洪水によって、大きな被害が発生した。これを契機に福島潟へ流入する支川の折居川・荒川川で河川改修が進められるとともに、潟から新潟東港へ洪水を流す福島潟放水路が平成 15 年に通水した（平成 16 全建賞受賞）。
- ・しかし、中流部に位置している福島潟の周辺では上流からの洪水の流入や、洪水時の福島潟の水位の上昇に対して十分な対策が図られていないことから、平成 15 年から広域基幹河川改修（大規模）事業として、湖岸堤及び水門を整備する事業を行っている。
- ・福島潟はオオヒシクイの日本一の越冬地で、オニバスの北限地であるなど「動植物の宝庫」として知られており、河川工事と環境保全の調和、完成後の景観への配慮をしながら河川工事を進めている。



3 新潟駅周辺整備事業〔新潟市〕

…………… 新潟県新潟市

- ・新潟駅周辺整備は、日本海側の拠点にふさわしい都市機能の強化に向けて、鉄道在来線の高架化や立体交差道路、駅前広場等の都市基盤をはじめとした、駅周辺市街地の総合的な整備を図るものであり、平成 18 年度に事業化した。
- ・令和 4 年度には在来線全線が高架化され、さらに令和 5 年度には駅の高架下で、「新潟駅バスターミナル」が開業し、乗換え利便性が向上した。
- ・駅北側にある駅前広場「万代広場」では、円滑な交通処理を図るとともに人々が憩い集うことができる居心地の良い空間となるよう、令和 9 年春の全面供用開始に向けて、中央広場などの整備を進めている。

